

2021年度の東京外語大

出題の概要と狙い

- ① 論述部分は100点中30～35点(300～500字+30～50字)。あまり、論述問題にこだわりすぎて、知識不足になると7割越えが厳しくなるので要注意！
- ② 論述以外の65～70点は、基本一問一答の記述式。近現代史の限定(2020年にはアリストテレスが出題されてびっくり(°Д°)!)。戦後史も1割程度ある。
- ③ 過去問はあくまでも出題形式や出題ポイントを研究するのに使用し、過去問演習より、単元や分野を見て、新しい出題を模索する。
- ④ 単元や分野の出題傾向は正直言ってあまりなく、〈変わる〉 & 〈同じものは出題されない〉を念頭に置いて対策する。
- ⑤ High-level はやらない … 応用的な出題はないので、狙う単元や分野を教科書(山川出版・東京書籍・帝国書院など)にて徹底熟読。用語集の赤は教科書内で確認。
- ⑥ 世界史で70%前後を取れば、合否は英語次第(多様化された英語力*)となるので、いくら世界史巧者でも世界史のやりすぎは厳禁！
- ⑦ 2017年・2018年の長文論述や2019年は「第1次世界大戦後のアジアの民族運動」は、世界の歴史に対する思考能力を問うてきた。また、2020年は「史料[A][B]と出題者による注記, 問1～7の設問文を参考にしなさい」と読み取り能力を要求してきました。勿論、これは対策できることではないですが、常に「歴史」に関しての〈考えたこと〉や〈納得したこと〉や〈疑問に思ったこと〉など、ただ暗記するだけでなく、自分なりの歴史観(知識を入れて答える)を持っておくべし。
- ⑧ 19～20世紀は民族・宗教問題・対立、国家統合や分裂などがいたるところで起こっている。これらのそれぞれの背景の共通点や相違点などは出題のネタになるので、気にしながら学んでほしい。

《チェックリスト》

1. 17世紀以降の戦争・戦いはすべて流れをチェックする
2. 西洋史・東洋史関係なく、条約の中身は比較しながらチェックする
3. 革命史(〈革命〉と名の付くモノ)は必須、その流れを覚える(イギリス革命～アラブの春)
*フランス革命とロシア革命は出題済
4. アジアの地域別の植民地化の流れとそれに対する抵抗運動
5. 有名人物の業績を説明できるように！時代背景・地域や国名など
6. 民族&宗教対立がある紛争の地域・背景・流れ・結果のチェック
7. アヘン戦争～第2次天安門事件までの中国現代史は外せない *台湾と香港も
*一部の時代は出題済
8. アメリカ史は大統領の業績を追う … 特に外交に注目(*中南米や中東地域)
9. 社会主義陣営の分裂と崩壊と西側の接近
10. 近年、文化史の出題が目立ってきている。政治思想・学問・科学などの一問一答。
11. 時事関連に注目

メキシコ史・ナポレオン史・黒人奴隷問題・女性参政権・感染症史・戦後のイラク史・
中国共産党史・戦後の米中関係・ソ連邦崩壊など